2019 年　上伊那地域　県政のおもなできごと

〇2019 年を振り返り、上伊那地域のおもなできごとを選定しました。

月	内容		
２月	宮田村で県内初のＣＳＦ（豚コレラ）発生 （上伊那地域振興局農政課）	２月６日、愛知県の農場から宮田村の養豚農場に搬入された豚が陽性と確認され、飼育されていた 2,444 頭全頭を殺処分・埋却のうえ、消毒ポイント設置等の防疫措置を実施しました。 その後、管内で感染した野生イノシシが確認されていますが、新たな農場での発生はありませんでした。 発生農場では６月に経営を再開し、飼育頭数も発生前の規模近くまで戻ってきています。	
２月 ・ ５月	廃プラスチックに関する環境講演会及びクリーン信州 for ザ・ブルーを開催 （上伊那地域振興局環境課）	近年世界的な問題となっているプラスチックごみについて学ぶため、２月にマイクロプラスチックに関する講演会を開催しました。 ５月には多くのボランティアの皆さんの参加による河川清掃を実施し、上流県としてプラスチックとの関わり方の理解を深める良い機会となりました。	
２月	国道 153 号伊那バイパス「令和伊那トンネル」が貫通 （伊那建設事務所）	国道 153 号伊那バイパスの野底区と福島区を連絡するトンネル（L=167m）が２月 12 日に無事貫通し、地域の皆様や工事関係者約 150 人の出席のもと、貫通式が開催されました。多くの方々が貫通の瞬間を見守り、万歳三唱で締めくくられました。 トンネルは５月に「令和伊那トンネル」と命名され、このトンネルの貫通により、伊那バイパス開通に向けた地元の機運がますます高まっており、引き続き早期開通に向けて事業推進を図ります。	
３月	『信州伊那谷のおいしい昆虫』を発刊 （上伊那地域振興局企画振興課）	世界に誇る伊那谷の昆虫食文化を発信するため、高校生によるざざ虫漁体験（１月）、昆虫食シンポジウム（２月）、銀座 NAGANO での昆虫食イベント（３月）を開催するとともに、これらの取組の集大成として、『信州伊那谷のおいしい昆虫』の冊子を発行しました。	
３月 ・ 10 月	中央アルプス県立公園の国定公園会に向けた取組が進む （上伊那地域振興局環境課）	３月に中島副知事（当時）が中央アルプス県立公園の国定公園指定書（案）及び公園計画（案）を環境省に持参し、申し出を行いました。 10 月には、中央環境審議会の現地調査が行われ、千畳敷カール等の特徴ある地形や植生等を視察。 中央アルプス県立公園の国定公園化に向けた取組が着実に進められています。	

４月	スマート農業実証事業始まる （上伊那農業改良普及センター）	伊那市の農事組合法人「田原」を実践農場として、国の委託事業「スマート農業技術の開発・実証プロジェクト」を導入し、県農業試験場が中心となって上伊那農業改良普及センター、伊那市、ＪＡ上伊那、信州大学、農業機械メーカー等でコンソーシアムを組織し、２か年計画でスマート農業実証の取組みを始めました。	
５月	宮の前地区　ほ場整備工事の部分完了 （上伊那地域振興局農地整備課）	平成 28 年度から長野県が事業主体となり、駒ケ根市赤穂の宮の前地区ではほ場整備を進めています。 21ha のうち 13ha で区画整理が完了し、本年度から耕作が再開されました。 耕作道等も整備し、担い手への農地集積・集約化を進めています。	
７月	「信州もみじ湖発電所」建設に着手 （南信発電管理事務所）	県営箕輪ダムを活用して水力発電を行う、「信州もみじ湖発電所」(最大出力:199kW，発電量:一般家庭約 310 世帯分)の建設に着手しました。 ７月 18 日に行われた起工式では、発電所の名付親となった地元中学生の表彰と発電所の名前が刻まれたプレートの披露が行われました。 県営横川ダムに建設中の「横川蛇石発電所」に続き、長野県企業局南信発電管理事務所が建設を行い、令和３年４月の運転開始を目指します。	
８月 ～ 10 月	農業用水探検隊を開催 （上伊那地域振興局農地整備課）	地域の農業水利施設の歴史や役割を小学生に学習してもらうための「農業用水探検隊」を８月～10 月にかけて９回開催し、小学４年生延べ 358 人が参加しました。 13 年目となる今年は、西春近南小学校、西春近北小学校、箕輪中部小学校、箕輪北小学校、南部小学校、南箕輪小学校、辰野南小学校の７校が参加し、西天竜幹線水路の円筒分水工や、伊那西部第１揚水機場などを見学しながら、農業における水の大切さを学んでもらいました。	
８月 ～ 12 月	観光タクシー実証実験ツアーを実施 （上伊那地域振興局商工観光課）	2027 年のリニア中央新幹線開業を見据え、上伊那地域における２次交通のあり方を探り今後の旅行商品につなげるため、首都圏の大学生・旅行者及び地元高校生を対象に、定額制のタクシーによる周遊観光ツアーを開催しました。 跡見学園女子大学の学生を対象とした８月のモニターツアーでは、当地域の観光スポットを複数巡り、「伊那紬」の着付けや機織り、農家民泊といった体験・交流が行われ好評を得ました。	
８月	公衆衛生専門学校創立 50 周年 （公衆衛生専門学校）	昭和 44 年に開校し、本年 50 周年を迎え、これまでに巣立った卒業生は 875 人となりました。 ８月 25 日には創立 50 周年記念式典・記念講演を開催し、同窓生や在校生のほか学校関係者等が参加し、50 年の歴史を懐かしく振り返りました。	

10月	「みすずハイウェイバス」アクセス確保実証実験がスタート （上伊那地域振興局企画振興課）	2027年のリニア中央新幹線開業を見据え、長野県における南北軸の交通手段である「みすずハイウェイバス」の利用促進を図るため、高速道路上にあるバス停と市街地とを結ぶ効果的なアクセス方法を検証する実証実験を開始しました。 長野・松本方面の乗車券を窓口で購入した方に、高速バス停との移動に利用できるタクシー券をお渡ししています。(令和２年３月15日まで)	
10月	国道361号「権兵衛トンネル」出口が崩壊し「権兵衛峠道路」が不通となる （伊那建設事務所）	台風19号通過後の10月20日未明、上伊那地域と木曽地域を結ぶ唯一の幹線道路である国道361号「権兵衛峠道路」が不通となり通勤、緊急搬送及び物流に大きな支障を来しました。 急峻な地形で技術難易度が高く、迅速な復旧が必要なため、国の権限代行による復旧工事が進む中で、12月19日に暫定的な片側交互通行が可能となりました。	
11月	「学校の森・子どもサミット」を開催 （上伊那地域振興局林務課）	森を活用した子育てや教育に関するサミットが伊那市立伊那西小学校で開催されました。 (主催：学校の森・子どもサミット実行委員会) 伊那西小児童による学校林での活動披露、関係者によるトークセッションなどを通じ、森が子どもたちの学びや育ちにもたらす力を改めて感じ、参加者それぞれが思いを新たにする機会となりました。	
11月	「日中植林・植樹国際連帯事業」を開催 （上伊那地域振興局林務課）	「日中植林・植樹国際連帯事業」により、中国河北省の大学生約50名が長野県を訪問する中で、南箕輪村大芝高原において広葉樹の植樹体験を行い、環境意識の啓発と日中の友好促進を図りました。	

ONE NAGANO
みんなでひとつに　がんばろう信州
「ONE NAGANO」はみんなで復興に取り組もうという合言葉
一人ひとりがそれぞれの立場で、できることからやってみよう！

担　当：上伊那地域振興局総務管理課
電　話：0265-76-6800
ﾌｧｸｼﾐﾘ：0265-76-6804
E-mail：kamichi-somu@pref.nagano.lg.jp

担　当：伊那建設事務所整備課
電　話：0265-76-6848
ﾌｧｸｼﾐﾘ：0265-76-6850
E-mail：inaken-seibi@pref.nagano.lg.jp

担　当：上伊那農業改良普及センター
電　話：0265-76-6842
ﾌｧｸｼﾐﾘ：0265-78-9349
E-mail：kamiina-aec@pref.nagano.lg.jp

担　当：公衆衛生専門学校
電　話：0265-72-4730
ﾌｧｸｼﾐﾘ：0265-76-9922
E-mail：koshueisei@pref.nagano.lg.jp

担　当：南信発電管理事務所
電　話：0265-72-6121
ﾌｧｸｼﾐﾘ：0265-78-8050
E-mail：nanhatsu@pref.nagano.lg.jp